

## 令和4年度発達障害診療等状況調査：アンケート結果

### 1 初診時の平均待機期間（101 機関）

- ・最も多くの割合を占めたのは、「1月未満」の区分であった。
- ・診断及び心理検査を実施している機関（56 機関）に限ると、「1月以上2月未満」の区分が最も多くの割合を占めた。

#### 1-2 圏域別平均待機期間

（単位：件）

圏域 \ 区分	1月未満	1月以上 2月未満	2月以上 3月未満	3月以上 4月未満	5月以上 6月未満	6月以上
賀茂	2	1	0	0	0	0
熱海・伊東	1	1	1	0	0	0
駿東田方	5	7	1	1	1	1
富士	1	4	1	2	0	0
静岡	11	11	2	3	0	0
志太榛原	9	2	0	0	1	0
中東遠	6	5	2	0	0	0
西部	6	5	4	2	1	1
割合	41%	36%	11%	8%	3%	2%

#### 1-3 平均待機期間（診断及び心理検査実施機関）

	1月未満	1月以上 2月未満	2月以上 3月未満	3月以上 4月未満	5月以上 6月未満	6月以上
割合	33%	35%	12%	12%	5%	2%

### 2 発達障害の診療等を行っていない理由【複数回答】（458 件回答あり）

回答	件数	割合
ア診察できる医師がいない、発達障害を得意としていない	187 件	41%
イ医師以外のスタッフが不足している	111 件	24%
ウ発達障害を診察する時間がとれない	76 件	17%
オ医療以外の支援を担う支援機関が少なく、つなぎ先がない	18 件	4%
エ採算がとれない	37 件	8%
カ診察希望者、対象者がいない	14 件	3%
キ当院での発達障害の診察の必要性を感じない	15 件	3%